

2023年2月15日

各位

東京都港区南青山三丁目11番13号
株式会社 TOKYO BASE
代表取締役 谷 正人
(コード番号: 3415 東証プライム市場)
問合せ先 取締役 CFO 中水 英紀
電話番号 03-6712-6842

通期連結業績予想の修正及び配当予想に関するお知らせ

当社は、2023年2月15日開催の取締役会において、2022年11月16日付で公表した2023年1月期(2022年2月1日~2023年1月31日)の通期連結業績予想及び配当予想につきまして下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

1. 通期連結業績予想の修正について

(1) 2023年1月期 通期連結業績予想(2022年2月1日~2023年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 18,900	百万円 △100	百万円 180	百万円 △700	円銭 △15.26
今回修正予想(B)	19,552	191	238	△582	△12.69
増減額(B-A)	652	291	58	118	
増減率(%)	3.4	-	32.2	-	
(ご参考) 前期実績 (2022年1月期)	17,618	946	1,082	762	17.15

(2) 修正の理由

2022年11月16日付で公表した2023年1月期通期連結業績予想は、日本は一定の回復傾向にあるものの、中国ではゼロコロナ政策の影響により、人流の大幅な低下による客数減、消費の低迷の継続が中国現地法人の業績に大きく影響し、売上及び営業利益以下の各段階利益が大幅に悪化することを見込んでおりました。

中国においては、11月下旬に中国本土でのゼロコロナ政策が解除され、12月～1月上旬にかけて各地で感染者が爆発的に増加し、中国現地法人の業績は引き続き厳しい状況となりました。なお、一部地域及び商業施設の店舗の撤退は計画通り進めております。

一方で日本においてはインバウンド需要の回復、11月以降の気温の低下による冬物商品や人気アイテムの好調な売上推移、プレセール期間の短縮と値引き率の抑制による売上及び売上総利益の増加、各種経費削減の積み上げによる営業利益の回復を見込んでおります。経常利益については第4四半期の為替変動に伴う為替差益の減少によるものです。

これらをふまえ、2023年1月期通期連結業績予想を上方修正いたします。

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想	—	0.00	0.00
今回修正予想	—	2.00	2.00
当期実績	0.00	—	—
(ご参考) 前期実績 (2022年1月期)	0.00	0.00	0.00

(2) 配当予想修正の理由

当社は、各事業年度の業績、財務体質の強化、中長期事業戦略などを総合的に勘案し、株主価値を最大化させることを念頭に、資本政策の決定ならびに配当を実施する方針であります。

上記方針及び業績動向等を総合的に勘案した結果、2023年1月期の1株あたり配当予想を前回予想(2022年11月16日公表)の無配から2円に修正することといたしました。

(注) 上記の予想は、本日時点において入手可能な情報や予測等をもとに算定しており、実際の業績等は異なる可能性があります。今回の予想について修正が必要となる場合は、速やかに開示いたします。

以 上